

JST 20周年記念フォーラム 未来共創イノベーションを目指して 「とてもよい世界の作り方」

入場
無料

平成28年11月4日 金

13:00 ~ 16:30 (開場 12:00)

会場 東京国際フォーラム B7ホール

定員 400人 (事前登録制・先着順)

※日英同時通訳レシーバーをご用意しております。

JSTはこれまでiPS細胞や青色発光ダイオードなど、大学を中心に優れた研究を発掘・支援することにより日本の研究と経済発展に貢献してきました。一方、世界では地球温暖化など地球規模の課題が深刻化し、持続可能な社会の実現には先進国と新興国が共に未来の社会を考える必要があります。また情報通信技術の発展は産業や市民生活を含む社会全体に影響するとともに、従来、科学技術の成果を利用してきた市民や企業に、研究開発に参加する新たな機会を生み出しました。JSTが2016年10月に設立20年を迎えるにあたり、国内外の気鋭のリーダーによる基調講演とパネルディスカッションを通じて、これからの20年の未来社会における社会と科学技術のあるべき関係を3つの視点から考えます。JSTだけでなく日本の研究者集団が時代の変化に適應した、日本全体のイノベーション・エコシステムが最適なものとなることを目指しています。

3つの視点

- 社会が参加する研究活動の新たなダイナミズムを実現する
- 障がい者など多様な立場と共に、イノベーションの芽を創出する
- 地球規模課題に対応した持続可能な社会を実現する



講演者

基調講演

梶田 隆章

▶ 東京大学特別栄誉教授・宇宙線研究所長 (2015ノーベル物理学賞受賞)

浅川 智恵子

▶ 日本IBM株式会社 東京基礎研究所 IBMフェロー (企業研究者)

パネルディスカッション

モデレータ 山根 一真

▶ ノンフィクション作家

パネリスト

北川 拓也

▶ 楽天株式会社 執行役員 データインテリジェンス統括部 ディレクター ECカンパニー CDO (チーフデータストラテジーオフィサー) (研究者・IT企業役員)

遠藤 謙

▶ 株式会社 Xiborg 代表取締役、ソニーコンピュータサイエンス研究所 アソシエイトリサーチャー (競技術・新興国向け義足の開発者・経営者)

Nuwong Chollacoop

▶ 国立金属材料技術研究センター (MTEC、タイ) (エネルギー問題に関わる研究者)

Rosa Paula Cuevas

▶ 国際稲研究所 穀類品質栄養センター (IRRI、フィリピン) (農産物に関係する研究者)

参加申込方法

以下URLより事前登録 (WEB事前登録制・先着順) が必要です

<https://form.jst.go.jp/enquetes/jst20thforum>



参加応募締切

10月31日

お問い合わせ

20周年記念フォーラム運営事務 (株式会社プライムインターナショナル内)
TEL: 03-6277-0117 E-mail: jst20thforum_sec@pco-prime.com



サイエンスアゴラ

13:00-13:20 開会挨拶・講演（科学技術振興機構理事長 濱口 道成）

13:20-14:40 基調講演



梶田 隆章

東京大学特別荣誉教授・宇宙線研究所長 / 2015ノーベル物理学賞受賞

埼玉大学理学部卒業、東京大学大学院理学系研究科博士後期課程修了後、東京大学宇宙線研究所助教授、教授を歴任。

ニュートリノが質量をもつことを示すニュートリノ振動の発見により2015年のノーベル物理学賞をArthur B. McDonald教授（Queen's University, カナダ）と共同受賞した。



浅川 智恵子

日本IBM株式会社 東京基礎研究所 IBMフェロー

2009年にIBMにおける技術者の最高職位である「IBMフェロー」に日本人女性技術者として初めて任命された。14才のときに視力を失った全盲の研究者として、障がいを持つ方々の情報アクセス、コミュニケーションの向上に貢献する技術の研究開発に取り組む傍ら、アクセシビリティの重要性についての様々な活動に関わる。2013年、紫綬褒章受章。2014年秋より米国に赴任し、カーネギーメロン大学客員教授を兼任中。

14:50-16:20 パネルディスカッション

モデレーター：



山根 一眞

ノンフィクション作家、獨協大学経済学部 国際環境経済学科 特任教授、理化学研究所相談役、宇宙研究開発機構（JAXA）客員、日本生態系協会理事、福井県文化顧問、2018年福井国体・大会式典プロデューサー

月探査に関する懇談会委員（内閣府）、生物多様性戦略検討会委員（農林水産省）、NHKキャスター（通算7年）などを歴任。日本文藝家協会会員。【著書】『メタルカラーの時代』（全21冊）『環業革命』『小惑星探査機はやぶさの大冒険』（東映で映画化）『小惑星探査機はやぶさ2の大挑戦』など多数。

パネリスト：



北川 拓也

楽天株式会社 執行役員
データインテリジェンス統括部 ディレクター
ECカンパニー CDO
(チーフデータストラテジーオフィサー)

ハーバード大学で数学と物理学を専攻した後、ハーバード大学院物理学科で博士課程を修了。理論物理学者として『Science』などに15本以上の論文を発表している。現在、楽天でビッグデータ、データサイエンス担当としてグループ全体のデータ活用を推進する組織や仕組み作りを統括。科学的な顧客理解から最高の顧客体験につなげるべく、店舗と共にサービスの向上に日々取り組んでいる。



遠藤 謙

株式会社 Xiborg代表取締役、
ソニーコンピュータサイエンス研究所 研究員

慶應義塾大学大学院修士課程修了後、2005年より、マサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボにて人間の身体能力の解析や下腿義足の開発に従事。MITのD-labにて途上国向けの義肢器具に関する講義を担当した。2012年よりソニーコンピュータサイエンス研究所にて研究員。ロボット技術を用いた身体能力の拡張に関する研究に携わる。2014年、競技用義足開発等をおこなう株式会社Xiborg起業。2014年にはダボス会議ヤンググローバルリーダーズに選出。



Nuwong Chollacoop

国立金属・材料技術センター(MTEC)
再生可能エネルギー研究所 所長、タイ王国

マサチューセッツ工科大学（MIT）で材料科学のPh.D.を取得後、タイに帰国し再生可能エネルギーへ活動を移した。過去11年にわたり、バイオ燃料に関する研究に関わり、最近ではJSTとJICAの共同プロジェクトであるSATREPSの活動が中心となっている。



Rosa Paula Cuevas

国際稲研究所（IRRI）穀類品質栄養センター
研究員、フィリピン共和国

米の官能評価をテーマに研究活動を実施しており、パネルを利用した米の官能評価から、米の特性の同定を行っている。この研究の目的は、米の品種改良を行う者が、要求される食品としての基準を上回るだけでなく、米の品質向上への理解を促進することである。また調理された米の特性の定量的な評価に向けた活動も実施している。

16:20-16:30 閉会挨拶（科学技術振興機構理事長 濱口 道成）